

質 疑 要 旨

佐藤正幸議員 No. 1

質 疑 要 旨	要 答 弁 者
1 被災者支援について (1) 自助・共助も限界という声がある中で、復興に向けて、より公助が大事になってくると考えるが、被災者一人ひとりに寄り添った支援について、知事の基本的認識を聞く。 (2) 医療費の窓口負担や介護利用料の免除について ア 免除措置が、被災者にとって命綱であるとの認識を持っているのか。 イ 協会けんぽなどは9月末まで免除を延長する一方、国民健康保険の保険者である市町と後期高齢者医療広域連合はそれができず、保険者の中には、何らかの支援があれば免除措置を継続できるという意向もあるが、この事態をどう考えているのか。 ウ 国の方針通り、各保険者の免除措置が9月末まで継続されるよう、国へ新たな支援について要望してほしいと考えるが、見解を聞く。 (3) 仮設住宅の住み替えについて ア 広い間取りの空き室への転居など居住環境の確保に向け、市町とどのように努力してきたのか。 イ 国からの人的支援や民間ボランティア団体の協力を受け、住み替えニーズの把握や別の仮設住宅団地の空き室への転居サポートを行う必要があると考えるがどうか。 (4) 被災者の経済的支援について ア 公費解体が進む中、家財道具を保管するための仮倉庫システムの整備や保管場所の確保などを求める声を受け、施策の現状と今後の対応方針を聞く。 イ 被災者支援のためにも、消費税減税を国に求めるべきと考えるが、所見を聞く。 ウ 夏の冷房使用や冬の暖房使用を念頭に、復興基金も活用し、電気料金の軽減への支援を行ってはどうか。 エ 被災者一人ひとりの生活再建支援プログラムを作成し、実行することを検討してほしいが、見解を聞く。	知 事 総 務 部 長 復旧・復興推進部長 健康福祉部長 土 木 部 長

この質疑要旨は、6月18日午後4時55分に取りまとめたものです。

質 疑 要 旨

佐藤正幸議員 No.2

質 疑 要 旨	要 答 弁 者
(5) 復興公営住宅などについて ア 復興基金を活用し、復興公営住宅の家賃補助を検討すべきと考えるが、所見を聞く。 イ 市町独自の復興公営住宅の整備に向けた取組が、住民の希望に沿うものになるよう、県として支援してほしいがどうか。 ウ 復興公営住宅は、ペットの同居が可能なのか聞く。 エ 12月末が完了期限の住宅の応急修理制度について、状況に応じて延長するというメッセージを発信してほしいがどうか。 2 暮らしの応援について (1) 本県の米の相対取引価格はどのように推移してきたのか、米農家の減少の状況と併せて聞く。 (2) 地域医療・介護について ア 東京都は、入院患者を受け入れた医療機関に対して独自の財政支援を行っているが、本県でも同様の支援が必要ではないか。 イ 一部の訪問介護事業所が介護報酬改定により減収しているという国の調査結果を踏まえ、財政支援が必要と考えるがどうか。 ウ 6月補正予算案の病床を削減する医療機関に支給する、国予算を活用した給付金について、どう評価しているのか、申込状況や病床廃止数の見込みと併せて聞く。 3 不登校や給特法等、学校給食について (1) 不登校対策について、子どもの心の傷への理解や休息・回復の保障など教育委員会としてどのように具体化しているのか。 (2) 不登校を理由に、親の離職などにより経済的困難に直面している現状を教育委員会はどのように把握しているのか。 (3) 不登校は介護休業の対象であることと、看護休暇の対象となる子の範囲が小学校3年生修了まで拡充されたことを親や教職員に周知すべきと考えるが、所見を聞く。 (4) 全国知事会が行った全国学力・学習状況調査の意義やあり方のアンケートで、都道府県別の公表や調査の必要性などについて、どのような回答をしたのか。	知 事 健康福祉部長 農林水産部長 知 事 教 育 長

この質疑要旨は、6月18日午後4時55分に取りまとめたものです。

質 疑 要 旨

佐藤正幸議員 No.3

質 疑 要 旨	要 答 弁 者
(5) 今回の給特法等の改正を教育委員会はどう捉えているのか。 (6) 市町と協力して学校給食無償化を行うべきと考えるがどうか。	

この質疑要旨は、6月18日午後4時55分に取りまとめたものです。